

# 幼稚園教諭に求められる資質能力に関する調査研究

江 田 美 代 子

An Investigation on the Characteristics and Aptitude  
Required to Be a Kindergarten Teacher

Miyoko EDA

## はじめに

宮崎学園短期大学は、毎年、保育士及び幼稚園教諭を県内は勿論県外まで保育所（園）や幼稚園に送りだしている。つまり、宮崎学園短期大学（保育科、初等教育科は）、幼稚園教諭の資格を取得させ、卒業と同時に教育現場で活躍しうる実力を備え、専門職として社会に貢献できる人材を育成するという使命を有するのである。

しかし、教育現場の管理的な職にある人達からは、たまに、「長続きしないで退職してしまう。」とか「教育に対する理解が浅く、自分なりの教育観がない。」「自主的研修で専門性を高めようとする努力を回避する傾向がある。」等の声を聴くことがある。本学を卒業した学生が、教育現場での勤務態度や幼稚園教諭としての資質能力の発揮如何が、結果的には、本学の評価にも影響を及ぼすと考える。

幼稚園では、幼児の最善の教育環境のために、開かれた幼稚園づくりを目指し、入園者への教育を充実させ、特色ある教育づくりに努力を傾注しているのである。

そこで、幼稚園教諭を養成して教育現場に多数の学生を送り出す本学にとっては、教育現場のニーズに応えるための、従来の専門に関する授業をなお一層充実すると共に幼稚園教諭に求められる資質能力を育成することが喫緊の課題と考える。つまり、上記のような状況の中では、昨年度の「保育士に求められる資質能力に関する調査研究」に続き「今、教育現場で求められる幼稚園教諭の資質能力は何か」を明確にし、明日からの本学の授業の中で指導法の工夫改善に努め、それらの資質能力を育成していかねばならないと考える。

「資質能力」については、「資質」と「能力」を分けなくて、「資質能力」を一体的にとらえて論述していくことにする。「資質能力」の観点としては、①幼稚園教諭に求められる資質能力②幼稚園の教育現場の実践的指導に求められる力量③幼稚園教諭に特に必要な生きる力④幼稚園教諭が社会人として特に身につけるよう求められる人格⑤豊かな人間性に関する内容として特に求められる資質能力⑥幼稚園教諭としての職務遂行に必要な資質能力⑦教育における愛着、誇り、一体感の中で求められる資質能力⑧教育に関する知識及び技能の中で特に求められる資質能力⑨実習生に求められる実践的指導力の内容⑩幼稚園教諭の初任者に特に求められる資質能力の観点等で考察することにした。

本調査報告書の研究テーマ「幼稚園教諭に求められる資質能力に関する調査研究」は、教育現場の幼稚園長や主任、保育科の学生、初等教育科の学生が、「幼稚園教諭の資質能力」をどのようにとらえているかを明らかにする試みである。従来、「教師論」「幼稚園教諭論」では、教師や幼稚園教諭とは如何にあるべきかという視点からの論述がほとんどであるので、本調査研究は、視点をかえ、「管理職としての園長が考える幼稚園教諭の資質能力」及び「幼稚園現場で指導的立場の主任が考える資質能力」、「保育科学生が考えている資質能力」「初等教育科学生が考えている資質能力」という立場から論を進めたものである。

基礎研究としてのこのささやかな調査研究が、本学の保育科、初等教育科の学生を対象にした教育指導における指導法の工夫改善に還元することが可能であればとの願いを込めて論を進めたい。

## 1 幼稚園教諭に求められる資質能力に関する調査研究の進め方

### (1) 調査研究の概要

調査研究のテーマ「幼稚園教諭に求められる資質能力についての調査研究」

- ① 時代、社会情勢の推移と共に、教師像についての見方、考え方は変化していると考ええる。
- ② 現時点における教育現場の教育関係者の幼稚園教諭の資質能力に関する見方、考え方はこのこのアンケートに集約されるものと期待できる。
- ③ 今回の調査は、項目を10グループに分類し、それぞれの項目で、幼稚園長、主任、保育科学生、初等教育科学生がどのように資質能力を考えているかを把握する。
- ④ アンケートの結果から幼稚園長としての立場と直接教育に携わる主任の立場、即ち、幼稚園の現場の管理的立場と、保育科、初等教育科学生の立場の二つに分類して資質能力について考察を加える。
- ⑤ 幼稚園長、主任に対するアンケートの最後の設問では、学生の実習参加の態度等について、教育現場からの感想の自由記述を依頼し、現場の生の声をとらえることとする。
- ⑥ この調査によって、教育現場が求める幼稚園教諭像が明らかになると、本学の幼稚園の実習の参加について、今後の授業改善の観点や実習前指導の在り方のポイントが明らかになると考える。

### (2) 調査の目的

本調査研究は、「幼稚園教諭の資質能力」を視座にすえて、次の2点を明らかにしたものである。

ア 宮崎県下の幼稚園の現場が希求する幼稚園教諭の資質能力を明らかにする。

イ 今後の授業や実習前指導の充実のために、宮崎県下の幼稚園における教育現場の本学実習生に対する期待や評価を明らかにする。

### (3) 調査の方法

本調査は、宮崎県内の公立、私立の幼稚園長、主任及び本学の保育科、初等教育科1、2年生に対して「幼稚園教諭に求められる資質能力」に関するニーズ調査、意識調査を行い、本学の保育科、初等教育科学生への教育指導における基礎資料を得る目的に実施したものである。

ア 宮崎県内の公立、私立幼稚園長、主任に対して、地域的に偏らないように無作為に抽出して書面（郵送）にて調査した。

イ 本学の保育科、初等教育科1、2年生全員（当日の欠席者は省く）に対して直接、書面にて調査した。

(4) 調査対象

調査対象	回収人数(名)			回収率(%)
幼稚園長、主任	162			93
保育科学生	382	1年生	196	100
		2年生	186	
初等教育科学生	54	1年生	26	100
		2年生	28	

(5) 調査項目

- ① 幼稚園教諭に求められる資質能力
- ② 幼稚園の教育現場の実践的指導に求められる力量
- ③ 幼稚園教諭に特に必要な生きる力
- ④ 幼稚園教諭が社会人として特に身につけておくよう求められる人格
- ⑤ 豊かな人間性に関する内容として特に求められる資質能力
- ⑥ 幼稚園教諭としての職務遂行に必要な資質能力
- ⑦ 教育における愛着、誇り、一体感の中で特に求められる資質能力
- ⑧ 教育に関する知識及び技能の中で特に求められる資質能力
- ⑨ 実習生に求められる実践的指導力の内容
- ⑩ 幼稚園教育の初任者に特に求められる資質能力の観点
- ⑪ 本学学生の実習についての意見及び感想

(6) 調査期日

幼稚園長・主任	平成20年9月
保育科学生	平成20年9月
初等教育科学生	平成20年9月

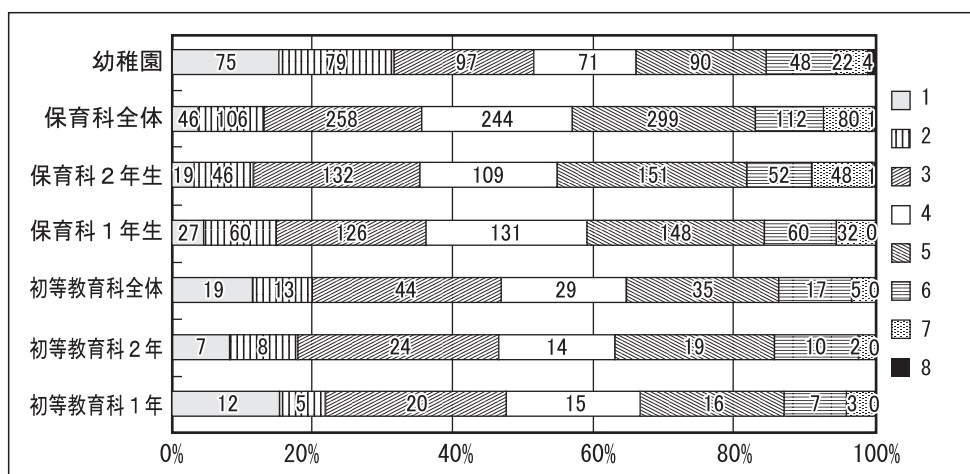
(7) 複数選択の場合は、延べ回答数を100パーセントとして集計した。

## 2 調査の結果・考察

(1) 特に幼稚園教諭に求められる資質能力を次の中から3つ選んでください。

- |   |                     |
|---|---------------------|
| 1 | 幼稚園教諭としての使命感        |
| 2 | 教育への情熱              |
| 3 | 幼児の思いや願いを的確にとらえる洞察力 |
| 4 | 幼児の成長・発達に関する理解      |
| 5 | 幼児への愛情              |
| 6 | 教育内容に関する専門的知識       |
| 7 | 豊かな教養               |
| 8 | その他                 |

図 I



### 【考察】

特に幼稚教諭に求められる資質能力として、幼稚園長・主任は、一番目に「3 幼児の思いや願いを的確にとらえる洞察力」(20.0%)、二番目に「5 幼児への愛情」(18.5%)、三番目に「2 教育への情熱」(16.3%)、四番目に「1 幼稚園教諭としての使命感」(15.4%)を上げている。

保育科の学生全体は、一番目に「5 幼児への愛情」(26.1%)、二番目に「1 幼児の思いや願いを的確にとらえる洞察力」(22.5%)、三番目に「4 幼児の成長・発達に関する理解」(21.3%)を上げている。

初等教育科の学生全体は、一番目に「3 幼児の思いや願いを的確にとらえる洞察力」(27.2%)、二番目に「5 幼児への愛情」(21.6%)、三番目に「4 幼児の成長・発達に関する理解」(17.9%)を上げている。

幼稚園長・主任が、三番目に上げている「2 教育への情熱」は、保育科学生全体では五番目(9.2%)、初等教育科の学生全体では六番目(8.0%)に過ぎない。また、幼稚園長・

主任が四番目に上げている「1 幼稚園教諭としての使命感」についても、保育科全体の七番目（4.0%）、初等教育科の学生全体の四番目（11.7%）に過ぎず、「教育への情熱」、「幼稚園教諭としての使命感」ともに意識が高いとは言えない。また、各学科ともに、学年が高くなるにつれて割合が高まっているとは言えず、むしろ、保育科では二つの項目ともに1学年が高い。初等教育科では、「幼稚園教諭としての使命感」は1学年、「教育への情熱」は2年生が高い。即ち、専門教科や教育実習等の学習が深まれば、使命感や情熱が高まるとは限らない。

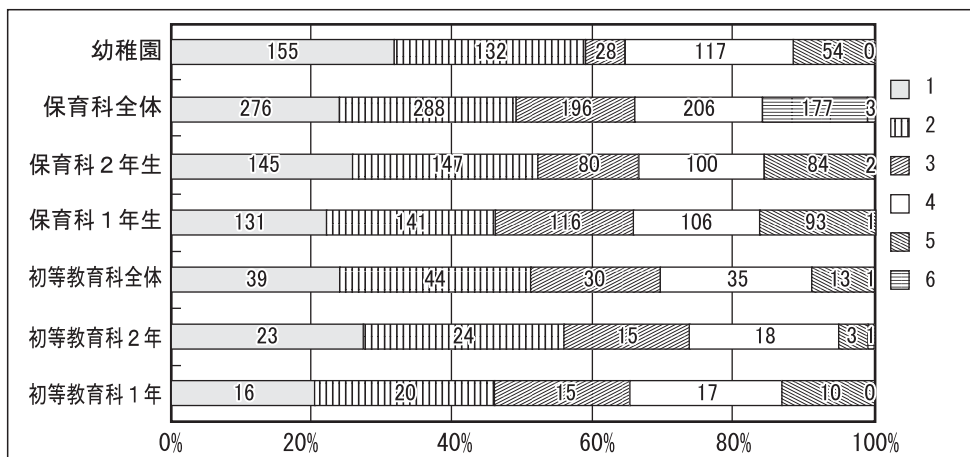
その他は、幼稚園長・主任（0.8%）が、「一般常識」、「頑張り通すやる気」を上げ、保育科学生全体（0.1%）が「生命を預かる責任感」、「笑顔」を上げている。

幼稚園現場は、幼稚園教諭の資質として、「幼児の思いや願いを的確にとらえる洞察力」、「愛情」、「情熱」、「使命感」、「幼児の成長・発達に関する理解」、「一般常識」を求めていることがわかる。

(2) 幼稚園の教育現場の実践的指導に求められる力量を次の中から3つ選んでください。

- 1 教育内容に関すること。
- 2 基本的な生活習慣に関すること。
- 3 保健衛生に関すること。
- 4 クラス経営に関すること
- 5 行事等に関すること
- 6 その他

図 II



【考察】

幼稚園の現場の実践的指導に求められる力量として、幼稚園長・主任は、一番目に「1 教育内容に関すること」(31.9%)、二番目に「2 基本的な生活習慣に関すること」(27.2%)、三番目に「4 クラス経営に関すること」(24.0%)、四番目に「5 行事等に関する

こと」(11.1%)を上げている。

保育科学生全体は、一番目に「2 基本的な生活習慣に関すること」(25.1%)、二番目に「1 教育内容に関すること」(24.1%)、三番目に「4 クラス経営に関すること」(18.0%)、四番目に「3 保健衛生に関すること」(17.1%)である。学年別に見ると、1年生は、一番目「2 基本的な生活習慣に関すること」(24.0%)、二番目「1 教育内容に関すること」(22.3%)、三番目に「3 保健衛生に関すること」(19.7%)、四番目に「4 クラス経営に関すること」(18.0%)を上げている。2年生は、保育科学生全体の順番と同じである。1年生の「3 保健衛生に関すること」の順番が三番目に上がっているのは、1年次に「小児保健」を学習していることによるものと考えられる。

初等教育科学生全体は、一番目に「2 基本的な生活習慣」(27.2%)、二番目に「1 教育内容に関すること」(24.1%)、三番目に「4 クラス経営に関すること」(21.6%)四番目に「3 保健衛生に関すること」(18.5%)の順に上げている。学年別に見ても割合は異なるが、順番は同じである。

全体的に見ると、日常的には、「教育内容」「基本的な生活習慣」「クラス経営」「保健衛生」に関することが実践的指導上必要な力量として期待されている。昨年度の、保育士に求められる資質能力の調査においては、「クラス経営」は14%であり、幼稚園教諭には、24.0%である。即ち、幼稚園教諭には、特に「クラス経営に関すること」が期待されていることがわかる。このことは、保育園は複数の保育士によるクラス担任であるが、幼稚園は一人のクラス担任であることによると考えられる。

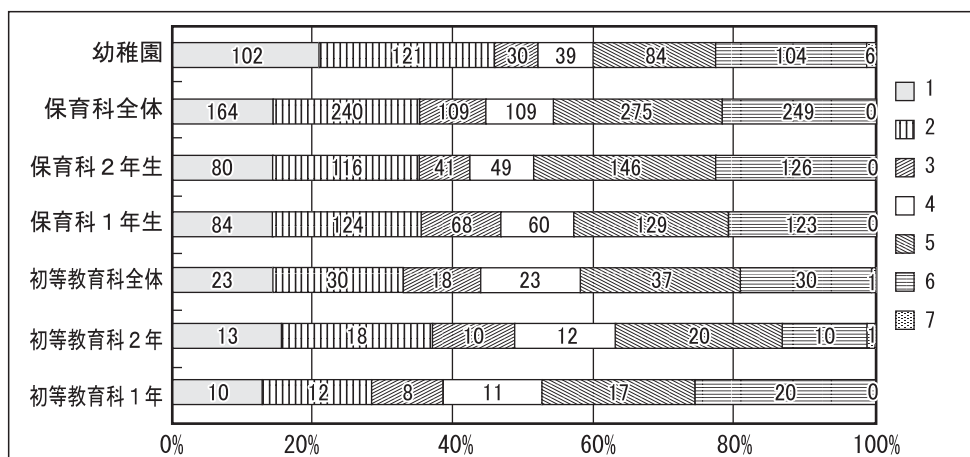
宮崎県教育委員会がプラン策定の求める教師像として、マネジメント力を上げていることから、学生の認識を高めると共に、「4 クラス経営に関すること」の資質能力の育成が大切であると考え。また、学生が、教育内容に精通するためには、日常の授業等において、常に、「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」を手元において熟読させるよう努めねばならないと考える。

その他においては、保育科学生全体(0.3%)が、「保護者への対応」、初等教育学生全体(0.6%)が、「保護者への対応」、「危機管理」を上げている。

(3) 幼稚園教諭に特に必要な生きる力を次の中から3つ選んでください。

- 1 何でも挑戦する情熱
- 2 自主的に行動できる力
- 3 じっくり考えて行動できる力
- 4 鋭い豊かな人権感覚
- 5 豊かな創造力
- 6 自分の行動への責任感
- 7 その他

図Ⅲ



【考察】

幼稚園教諭に特に必要な生きる力として、幼稚園長・主任は、一番目に「2 自主的に行動できる力」(24.9%)、二番目に「6 自分の行動への責任感」(21.4%)、三番目に「1 何でも挑戦する情熱」(21.0%)を上げている。この項目では、「無責任で指示待ちの若者」に対する厳しい姿勢がくみ取れる。

保育科学生全体は、一番目に「5 豊かな創造力」(24.0%)、二番目に「6 自分の行動への責任感」(21.7%)、三番目に「2 自主的に行動できる力」(21.0%)を上げている。学年を比較すると、1年生、2年生ともに、一番目に「5 豊かな創造力」を上げ、二番目は、1年生が、幼稚園長・主任が一番目に上げている「2 自主的に行動できる力」である。2年生は、「6 自分の行動への責任感」である。

「1 何でも挑戦する情熱」は、保育科1年生(14.3%)、2年生(14.3%)ともに同じ割合で四番目に上げ、宮崎県教育委員会がプラン策定の求める教師像として「愛情と情熱」を上げていることから、うなずけることである。

初等教育科学生全体は、保育科学生と同じく、一番目に「5 豊かな創造力」(22.9%)、二番目に「6 自分への行動への責任感」(18.5%)、「2 自主的に行動できる力」(18.5%)を上げている。割合は、少々異なるが、両学科学生が同じ項目を上げていることで、幼稚園教諭志望者の学生が認識し、求めている生きる力が明確になったと考える。

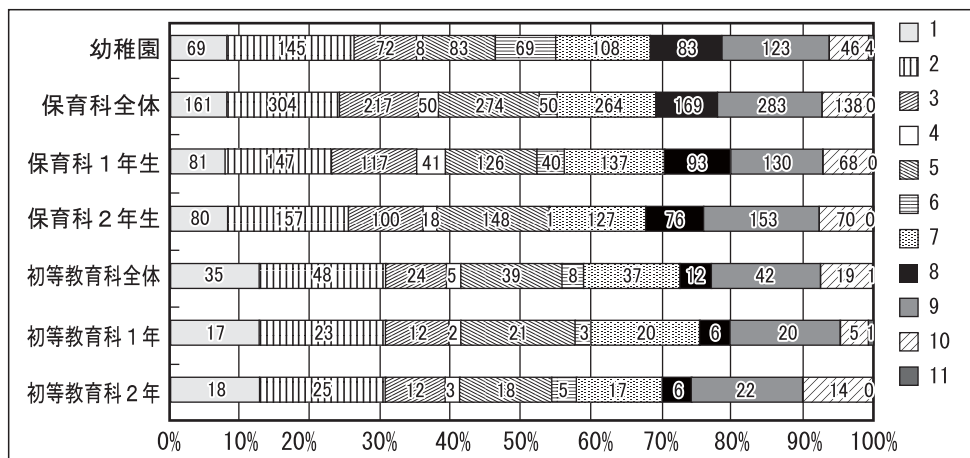
その他については、幼稚園長・主任(1.2%)が、「人間関係」「一般常識」、「職員とのコミュニケーション」、初等教育科学生(0.6%)が「礼節」を上げている。



(4) 幼稚園教諭が社会人として特に身につけるよう求められることを、次の中から3つ選んでください。

- 1 時間を守ること
- 2 責任感をもつこと
- 3 信用を失わないこと
- 4 保護者の評判を高めること
- 5 幼児の手本になること
- 6 力量を高めること
- 7 思いやりの心を常にもつこと
- 8 幼稚園の一員である自覚をもつこと
- 9 報告、連絡、相談を忘れないこと
- 10 保護者との出会い、研修の機会等を活用すること
- 11 その他

図IV



【考 察】

幼稚園教諭が社会人として特に身につけるよう求められることとして、幼稚園長・主任は、一番目に「2 責任感をもつこと」(17.9%)、二番目に「9 報告、連絡、相談を忘れないこと」(15.2%)、三番目に「7 思いやりの心を常にもつこと」(13.3%)を上げ、続いて「5 幼児の手本になること」(17.9%)、「8 幼稚園の一員である自覚をもつこと」(17.9%)の順であり、「3 信用を失わないこと」(8.9%)、「1 時間を守ること」(8.5%)、「6 力量を高めること」(8.5%)と続き、「3 保護者の評判を高めること」は1.0%に過ぎない。

保育科学生全体では、一番目に「2 責任感をもつこと」(15.9%)、二番目に「9 報告、連絡、相談をすること」(14.8%)、三番目に「5 幼児の手本になること」(14.4%)を上げ、次に「7 思いやりの心を常にをもつこと」(13.8%)、次に「3 信用を失わないこと」



(11.4%)、「8 幼稚園の一員である自覚をもつこと」(8.8%)「1 時間を守ること」(8.3%)を上げ、園長・主任と同様の認識を持っていることがわかる。学年別に見ると数値は少々差はあるが、保育科2年生は園長・主任と同じである。保育科1年生は、一番目は園長・主任、保育科2年生と同じく「2 責任感をもつこと」であるが、二番目は、「7 思いやりの心を常にもつこと」である。この1, 2年生の違いは、教育実習や保育実習体験の有無によるものと考えられる。順番は異なるが、1, 2年生が四番目までに上げている項目は同じである。

初等教育科学生全体は、割合は少々異なるが、順番は保育科学生全体と同じく、一番目に「2 責任感をもつこと、」(17.8%)、二番目に「9 報告、連絡、相談を忘れないこと」(15.6%)、三番目に「5 幼児の手本になること」(14.4%)を上げ、次に「7 思いやりの心を常に持つこと」(13.7%)、「1 時間を守ること、」(13.0%)、「3 信用を失わないこと」(8.9%)を上げている。学年別に見ると、一番目は1, 2年生ともに、「2 責任感をもつこと」であるが、二番目に上げている項目は、1年生が「7 思いやりの心を常にもつこと」(14.0%)、2年生は園長・主任と同じく「9 報告、連絡、相談を忘れないこと」(16.4%)を上げている。三番目は、1年生が「9 報告、連絡、相談を忘れないこと」(13.3%)、2年生は、「5 幼児の手本になること」(15.9%)を上げている。この1, 2年生の違いは、保育科と同様に教育実習体験の有無によるものと考えられる。

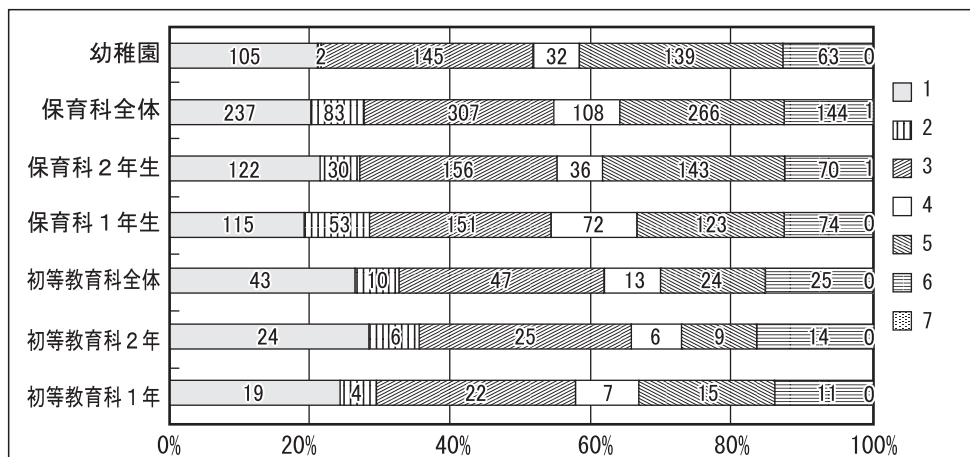
園長・主任は、「6 力量を高めること」(8.5%)を期待しているが、保育科全体は2.6%と少ない。「10 保護者との出会い、研修の機会等を活用すること」は保育科学生全体が7.3% (1年生6.9%、2年生7.5%)、初等教育科学生全体が7.0% (1年生3.8%、2年生10.0%)であるが、幼稚園長・主任は5.7%に過ぎない。幼稚園の信頼、信用は、「安心安全に配慮した責任ある教育」にかかっていることを学生にも自覚させることが大事であると考えられる。

その他については、幼稚園長・主任4名(0.5%)が「幼児の心理の理解」「一般常識」「幼稚園教育要領等の専門性」「プラス思考の考え方」を上げている。

(5) 豊かな人間性に関する内容として、特に幼稚園教諭に求められる資質能力を次の中から3つ選んでください。

- 1 人間尊重・人権尊重の精神
- 2 男女平等の精神
- 3 思いやりの心
- 4 ボランティア精神
- 5 感動する豊かな感性
- 6 正義感や公正さを重んじる心
- 7 その他

図 V



【考察】

豊かな人間性に関する内容として、特に幼稚園教諭に求められる資質能力については、幼稚園長・主任は、一番目に「3 思いやりの心」(29.8%)、二番目に「5 感動する豊かな感性」(28.6%)、三番目に「1 人間尊重・人権尊重の精神」(21.6%)を上げ、四番目には割合が低くなって「6 正義感や公正さを重んじる心」(13.6%)となっている。

保育科学生全体でも、幼稚園長・主任と同じく、一番目に「3 思いやりの心」(26.8%)、二番目に「5 感動する豊かな感性」(23.2%)、三番目は「1 人間尊重・人権尊重の精神」(20.7%)、四番目に「6 正義感や公正さを重んじる心」(12.6%)である。学年別に見ても、保育科1,2年生は、幼稚園長・主任と同じ順番で、一番目「3 思いやりの心」(1年生25.7%、2年生28.0%)、二番目は「5 感動する豊かな感性」(1年生20.9%、2年生25.6%)、三番目は「1 人間尊重・人権尊重の精神」(1年生19.6%、2年生21.9%)、四番目「6 正義感や公正さを重んじる心」(1年生12.6%、2年生12.5%)である。

初等教育科学生全体は、一番目に「3 思いやりの心」(29.0%)、二番目に「1 人間尊重・人権尊重の精神」(26.6%)、三番目に「6 正義感や公正さを重んじる心」(15.4%)、四番目に「5 感動する豊かな感性」(14.8%)と、選ばれた項目は、幼稚園長・主任、保育科と同じであるが順番が替わっている。学年別に見ると、1年生は、一番目「3 思いやりの心」(28.2%)、二番目「1 人間尊重・人権尊重の精神」(24.4%)、三番目「5 感動する豊かな感性」(19.2%)、四番目「6 正義感や公正さを重んじる心」(14.1%)を上げ、2年生は、一番目「3 思いやりの心」(29.8%)、二番目「1 人間尊重・人権尊重の精神」(28.6%)、三番目「6 正義感や公正さを重んじる心」(16.7%)、四番目「5 感動する豊かな感性」(10.7%)を上げている。

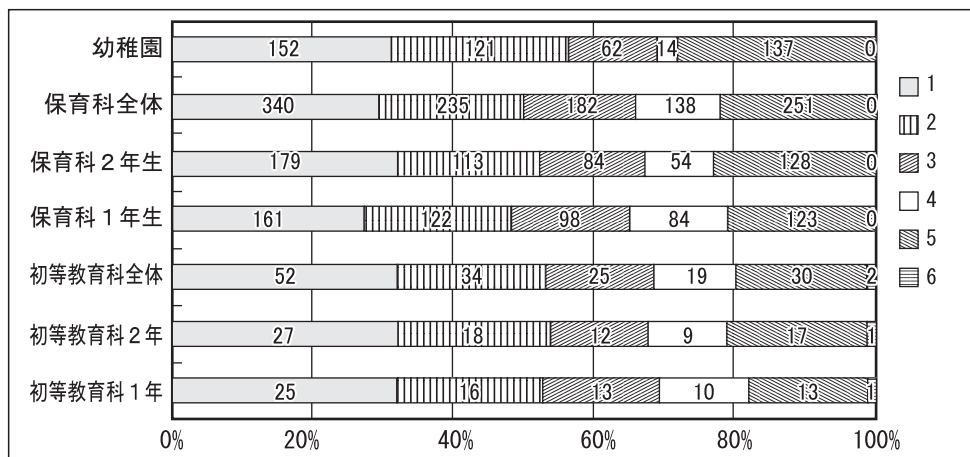
全体的にみると、「思いやりの心」、「感動する豊かな感性」、「人間尊重・人権尊重の精神」「正義感や公正さを重んじる心」が幼稚園教諭に求められる資質能力として共通している。なお、人権感覚も大切な人間性と考えたいものである。

その他には、保育科学生(0.2%)が「動物愛護の精神」を上げている。

(6) 幼稚園教諭としての職務遂行に必要な資質能力を次の中から3つ選んでください。

- |   |                 |
|---|-----------------|
| 1 | 幼児の成長・発達に関すること  |
| 2 | 教育理念に関すること      |
| 3 | 教育の理論に関すること     |
| 4 | 教育の役割について理解すること |
| 5 | 幼稚園教育要領に関すること   |
| 6 | その他             |

図VI



【考察】

幼稚園教諭としての職務遂行に必要な資質能力として、幼稚園長・主任は、一番目に「1 幼児の成長・発達に関すること」(31.3%)、二番目に「5 幼稚園教育要領に関すること」(28.2%)、三番目に「2 教育理念に関すること」(24.9%)を上げている。幼稚園長・主任は、幼児の教育の在り方に関しては、まず、在園する子どもの身体、言葉、生活技能等のそれぞれの発達の筋道や段階についての知識、理解を幼稚園教諭に期待するのは当然であると理解できる。

保育科学生全体でも幼稚園長・主任と同じく、一番目「1 幼児の成長・発達に関すること」(29.7%)、二番目「5 幼稚園教育要領に関すること」(21.9%)、三番目に「2 教育理念に関すること」(20.5%)を上げている。学年別に見ても同様である。1, 2年生の順番は同じで、一番目に「1 幼児の成長・発達に関すること」(1年生27.4%、2年生32.1%)、二番目に「5 幼稚園教育要領に関すること」(1年生20.9%、2年生22.9%)、三番目に「2 教育理念に関すること」(1年生20.7%、2年生20.2%)の割合を示している。

初等教育科学生全体は、一番目「1 幼児の成長・発達に関すること」(32.1%)、二番目「2 教育理念に関すること」(21.0%)、三番目「5 幼稚園教育要領に関すること」(18.5%)を上げ、幼稚園長・主任、保育科全体に比べると、二番目と三番目が入れ替わっているが、

上げられている3つの項目は同じである。学年別に見ても1, 2年生の順番は同じで、一番目「1 幼児の成長・発達に関すること」(1年生32.1%、2年生32.2%)、二番目「2 教育理念に関すること」(1年生20.5%、2年生21.4%)、三番目「5 幼稚園教育要領に関すること」(1年生16.7%、2年生20.2%)の割合である。

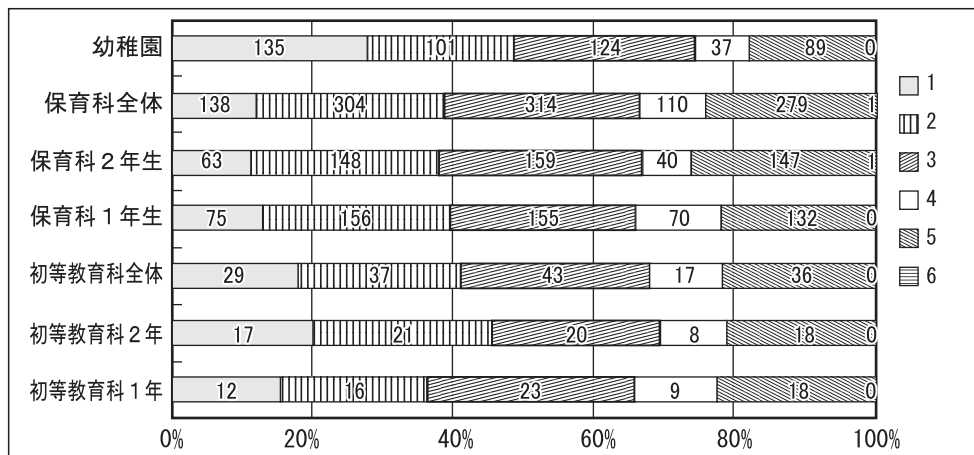
幼稚園長・主任、保育科学生全体は、共に、「5 幼稚園教育要領に関すること」を二番目に、初等教育科は三番目に上げている。幼稚園教育要領は、幼児の教育の在り方の基本であり、学生が内容に精通するようなお一層重視して、授業の中で、指導していくことが大切である。学生の「幼稚園教育要領」への意識・関心が高いことは、喜ばしいことである。願わくば、幼稚園教諭を目指す学生は、「幼稚園教育とは～」という教育観を自分なりに確立してほしいと思う。

その他では、初等教育科1年生(1.3%)が「時間厳守」、2年生(1.3%)が、「保護者とのよい関係」を上げている。

(7) 幼稚園教諭の職務上で大切なことには、教育における愛着、誇り、一体感がある。教育における愛着、誇り、一体感で特に求められる資質能力を次の中から3つ選んでください。

- 1 職務に関する情熱・使命感
- 2 幼児に対する責任感や興味・関心
- 3 幼児に対する愛情
- 4 教育の職務に対する生きがい
- 5 豊かな包容力のある人間性
- 6 その他

図VII



## 【考 察】

教育における愛着、誇り、一体感に求められる資質能力については、幼稚園長・主任は、一番目に「1 職務に関する情熱・使命感」(27.8%)、二番目に「3 幼児に対する愛情」(25.5%)、三番目に「2 幼児に対する責任感や興味・関心」(20.8%)を上げている。幼稚園に対する保護者の評価は、幼稚園教諭の「幼児への愛情」や「教育への情熱」であると考えれば、納得できる結果である。

保育科学生全体では、一番目に「3 幼児に対する愛情」(27.4%)、二番目に「2 幼児に対する責任感や興味・関心」(26.5%)、三番目に「5 豊かな包容力のある人間性」(24.3%)を上げ、幼稚園長・主任が一番目に上げている「1 職務に関する情熱・使命感」は、四番目で12.0%に過ぎない。保育科学生が「幼児に対する愛情」を一番目に考えていることは、極めて好ましいとらえ方であると考えるが、「職務に関する情熱・使命感」が低い割合であることは、普段の指導における研究課題だと考える。

学年別に見ると、1年生は、一番目「2 幼児に対する責任感や興味・関心」(26.5%)、僅差で二番目は「3 幼児に対する愛情」(26.4%)、三番目は「5 豊かな包容力のある人間性」(22.4%)、四番目「1 職務に関する情熱・使命感」(12.8%)を上げている。2年生は、一番目に「3 幼児に対する愛情」(28.5%)、二番目に「2 幼児に対する責任感や興味・関心」(26.5%)、三番目に僅差で「5 豊かな包容力のある人間性」(26.3%)を上げている。

初等教育科学生全体は、一番目に「3 幼児に対する愛情」(26.5%)、二番目に「2 幼児に対する責任感や興味・関心」(22.8%)、僅差で、三番目に「5 豊かな包容力のある人間性」(22.2%)、を上げ、幼稚園長・主任が一番目に上げている「1 職務に関する情熱・使命感」は四番目で17.9%に過ぎない。

学年別で見ると、1年生は、一番目に「3 幼児に対する愛情」(29.5%)、二番目に「5 豊かな包容力のある人間性」(23.1%)、三番目に「2 幼児に対する責任感や興味・関心」(20.5%)、四番目に「1 職務に関する情熱・使命感」(15.4%)を上げている。2年生は、一番目に「2 幼児に対する責任感や興味・関心」(25.0%)、二番目に「3 幼児に対する愛情」(23.8%)、三番目に「5 豊かで包容力のある人間性」(21.4%)、四番目に「1 職務に対する情熱・使命感」(20.2%)を上げている。

幼稚園長・主任、保育科及び初等教育科の学生全体が、共に、「3 幼児に対する愛情」が高い割合を示していることは、教育の基盤として「幼児に対する愛情」が大切であると考えていることがわかる。幼稚園教育要領において、「教師は幼児と信頼関係を十分に築き」の文言があることから、学生が高い割合で選んだことは喜ばしいことである。

一方、保育科、初等教育科学生全体は、「職務に関する情熱・使命感」を四番目に上げ低い割合であるが、幼稚園長・主任はこの項目をトップに上げており、幼稚園教諭を志す学生が低いというこのギャップをどのように埋めるかが、学生を指導する本学にとって大きな課題であると考えられる。

このことが重要な資質であることは、宮崎県教育委員会策定の「教職員人材育成プラン」の求める教師像の中にも「子どもに対する愛情と教育に対する情熱を持ち、子どもとの信頼

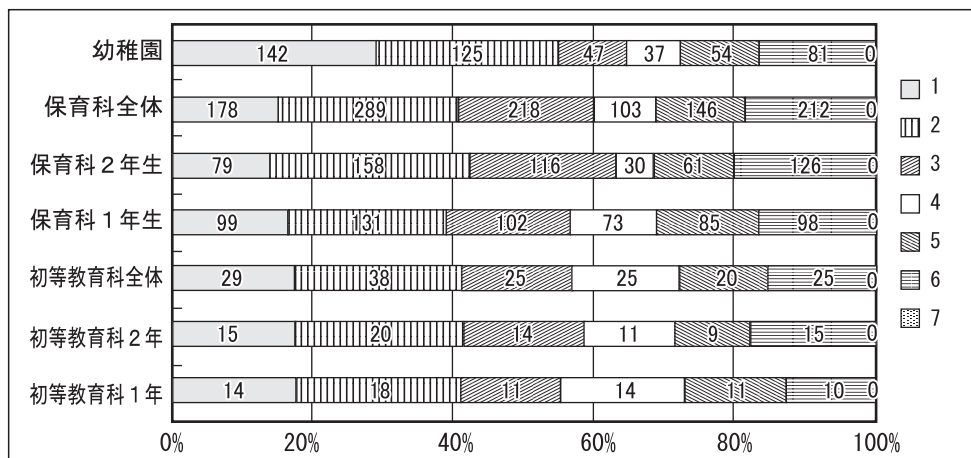
関係を築くことができること。」と明記し、幼児に対する「愛情」や教育に対する「情熱」が教師の基盤となる資質としていることからわかる。

その他は、保育科2年生(0.1%)が、「子どもとの共感」を上げている。

(8) 幼稚園教諭の職務上で大切な教育に関する知識及び技能の中で、特に、幼稚園教諭に求められる資質能力を次の中から3つ選んでください。

- 1 教育の意義や役割に関する正確な知識
- 2 幼児の個性を伸ばす能力
- 3 幼児を思いやり感情移入できること
- 4 カウンセリング・マインド
- 5 困難な事態を処理できる能力
- 6 地域・家庭との円満な関係を構築できる能力
- 7 その他

図VIII



【考察】

教育に関する知識及び技能の中で、特に、幼稚園教諭に求められる資質能力として、幼稚園長、主任は一番目に「1 教育の意義や役割に関する正確な知識」(29.2%)、二番目に「2 幼児の個性を伸ばす能力」(25.7%)、三番目に「6 地域・家庭との円満な関係を構築できる能力」(16.7%)、四番目に「5 困難な事態を処理できる能力」(11.1%)を上げている。昨年度の調査研究「保育士に求められる資質能力」における「保育に関する知識及び技能の中で、保育士に求められる資質能力」も全くこの順番の結果を得ている。「正確な知識」「幼児一人一人の個性の把握」「地域・家庭との円満な関係の構築」の3項目は幼稚園・保育所(園)の教育の充実には不可欠であり、求められる資質として上げられたことはうなずけることである。



保育科学生全体では、一番目に「2 幼児の個性を伸ばす能力」(25.2%)、二番目に「3 幼児を思いやり感情移入できること」(19.0%)、三番目に「6 地域・家庭との円満な関係を構築できる能力」(18.5%)である。昨年度の「保育士に求められる資質能力」の調査における保育科学生の結果も全くこの順番の結果であった。因みに、「1 教育の意義や役割に感ずる正確な知識」は四番目で15.5%、「5 困難な事態を処理できる能力」は五番目で12.7%であった。学年別に見ると、1年生は、一番目「2 幼児の個性を伸ばす能力」(22.3%)、二番目「3 幼児を思いやり感情移入できること」(17.3%)、三番目「1 教育の意義や役割に関する正確な知識」(16.8%)、四番目に「6 地域・家庭との円満な関係を構築できる能力」(16.7%)を上げている。2年生は、「2 幼児の個性を伸ばす能力」(28.3%)、「3 幼児を思いやり感情移入できること」(20.8%)、「6 地域・家庭との円満な関係を構築できる能力」(20.4%)、少し割合が低くなって「1 教育の意義や役割に関する正確な知識」(14.2%)の順番で、1年生と比較すると一番目、二番目は1年生と同じで、三番目と四番目が入れ替わっている。

幼稚園長・主任が一番目を選んで「教育の意義や役割に関する正確な知識」は、保育科学生においては低く、見解が違っており気にかかる。教職に関わる専門教科の履修状況により左右される場合も考えられるが、「教育の意義や役割に関する正確な知識」は、他の項目の基礎になるものであり、その認識が希薄であることは今後の課題としたい内容である。幼稚園教諭を志す学生が「教育とは・・・」ということについて、正しく理解することは極めて重要なことであり、日常の授業でもきちんと指導していくことが望まれる。

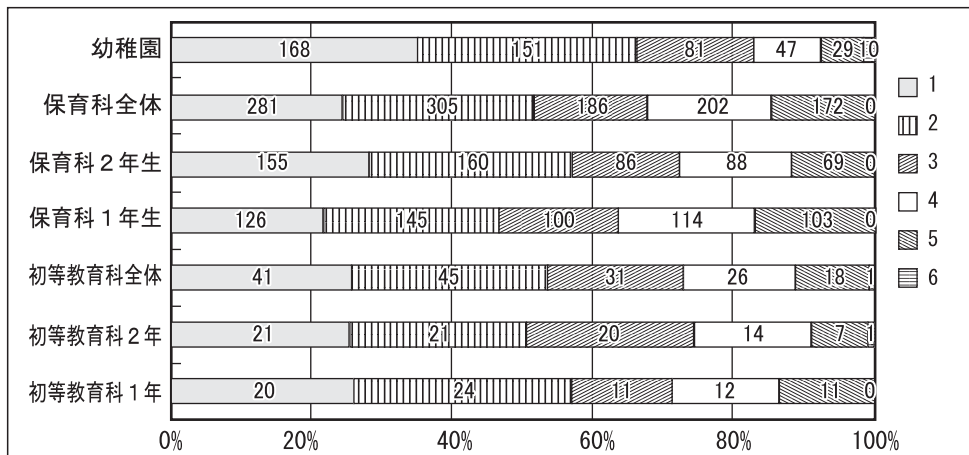
初等教育科学生全体は、一番目に「2 幼児の個性を伸ばす能力」(23.5%)、二番目に「1 教育の意義や役割に関する正確な知識」(17.9%)、三番目に「3 幼児を思いやり感情移入できること」(15.4%)、「4 カウンセリング・マインド」(15.4%)、「6 地域・家庭との円滑な関係を構築できる能力」(15.4%)の3項目を挙げている。学年別に見ると、1、2年生共に、一番目は「2 幼児の個性を伸ばす能力」(1年生23.1%、2年生23.8%)、二番目に「1 教育の意義や役割に関する正確な知識」(1年生17.9%、2年生17.9%)を示し、保育科の学生に比べ、「1 教育の意義や役割に関する正確な知識」の割合がわずかではあるが高く、上述の懸念はいくらか払拭できるようである。

(9) 実習生に求められる実践的指導力の内容を3つ 選んでください。

- 1 教育内容に関すること
- 2 基本的習慣に関すること
- 3 クラス経営に関すること
- 4 保健衛生に関すること
- 5 行事等に関すること
- 6 その他



図IX



【考察】

教育実習生に求められる実践的指導力の内容として、幼稚園長・主任が一番目に「1 教育内容に関すること」(34.6%)、二番目「2 基本的習慣に関すること」(31.1%)、三番目「3 クラス経営に関すること」(16.7%)を上げている。昨年度の調査研究「保育士に求められる資質能力」における「実習生に求められる実践的指導力の内容」としては、一番目、二番目は同じ項目であったが、三番目には「4 保健衛生に関すること」が上げられた。幼稚園の場合には、「3 クラス経営に関すること」が上げられているが、保育所(園)、幼稚園の対象年齢が異なること、保育所(園)が複数の担任制、幼稚園が担任一人制であることを考えれば、うなずけることである。また、幼稚園実習前指導においては、クラス経営に力点をおくことが必要であると考え。教育内容に関しては、特に、指導案の書き方の基礎基本について、実習前指導において指導を徹底しておくことが求められていると考える。

保育科学生全体は、一番目に「2 基本的習慣に関すること」(26.6%)、二番目に「1 教育内容に関すること」(24.5%)、三番目に「4 保健衛生に関すること」(17.6%)を上げている。学年別に見ると、1、2年生ともに同じく、「2 基本的習慣に関すること」(1年生24.7%、2年生28.7%)、「1 教育内容に関すること」(1年生21.4%、2年生27.8%)、「4 保健衛生に関すること」(1年生19.4%、2年生15.8%)の順である。「3 クラス経営に関すること」よりは、「4 保健衛生に関すること」が三番目に上がっていることは、発達段階を踏まえた保健衛生の考え方が浸透しており、クラス経営に当たった経験が余りないことによると考えられる。

初等教育科学生全体は、一番目に「2 基本的習慣に関すること」(27.8%)、二番目に「1 教育内容に関すること」(25.3%)、三番目に「3 クラス経営に関すること」(19.1%)を上げている。一番目と二番目は保育科学生と同じである。三番目には、幼稚園長・主任と同じく「クラス経営」を上げた点が保育科学生と異なっている。学年別に見ると、1年生は、「2 基本的習慣に関すること」(30.8%)、「1 教育内容に関すること」(25.6%)、「4 保健衛生に関すること」(15.4%)の順で保育科学生と同じである。2年生は、一番目に「1 教育内容に関すること」(25.0%)と「2 基本的習慣に関すること」(25.0%)、三番

目に「3 クラス経営に関すること」(23.8%)を上げている。2年生は、実習経験を通して、クラス経営の大切さを認識していると考えられる。

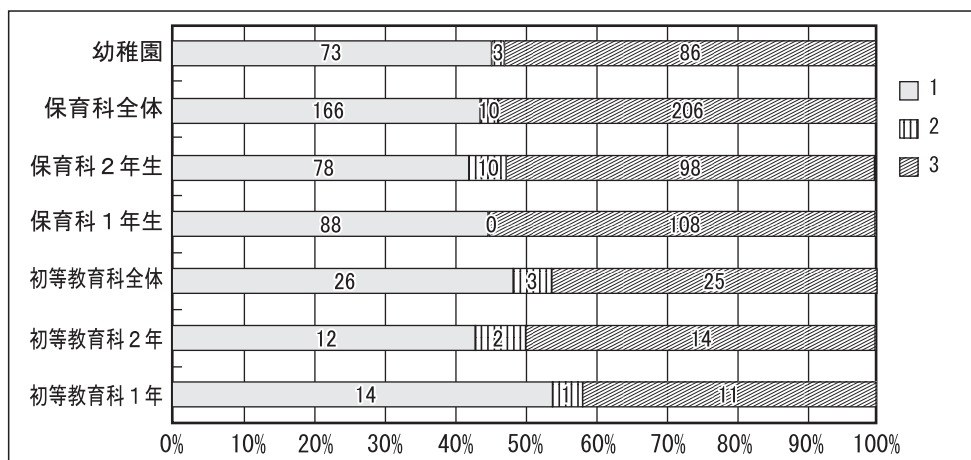
その他は、幼稚園長・主任の2.1%が「幼児の観察力」、「実習記録のまとめ方」、「表情」、「意欲」、「専門性」、「職務の自覚」、「一般常識」、「礼儀作法」、「実技(ピアノ)」、初等教育科の1.2%が「情熱」「やる気」を上げている。

その他に上げられた内容は、いずれも大切である。特に、「一般常識」「礼儀作法」については、実習生といえども、保護者への対応が多く、社会常識に乏しい実態もあるので、本学が、建学の精神に「礼節と勤労」を掲げ、「人間の研究」の授業を重視していることは今後とも大切であると考ええる。

(10) 幼稚園教諭の初任者に、特に求められる資質能力を、次の観点の中から1つ選んでください。

- |   |          |
|---|----------|
| 1 | 人間性重視の観点 |
| 2 | 専門性重視の観点 |
| 3 | 両方とも同じ位  |

図X



【考察】

幼稚園教諭の初任者として特に求められる資質能力の観点として、幼稚園長・主任は、一番目に「3 両方とも同じ位」(53.1%)、二番目に「1 人間性重視の観点」(45.1%)、三番目に「2 専門性重視の観点」(1.8%)を上げている。

保育科学生全体も、幼稚園長・主任と同様に、一番目に「3 両方とも同じ位」(53.9%)、二番目に「1 人間性重視の観点」(43.5%)、三番目に「2 専門性重視の観点」(2.6%)を上げている。学年別に見ても、順番は1年生、2年生は同じである。

初等教育科学生全体は、一番目に「1 人間性重視の観点」(48.1%)、二番目に「3 両方とも同じ位」(46.3%)、三番目に「2 専門性重視の観点」(5.6%)を上げている。学年

別に見ると、一番目には1年生が「1 人間性重視の観点」(53.9%)、2年生「3 両方とも同じ位」(50.0%)を上げている。

保育科と初等教育科学生は、日常の授業を通して専門性の力量を身に付けるとともに、常に、自己研鑽と人間性の陶冶に努め、人権感覚を身につける必要がある。

(11) 本学の学生の実習についてのご意見やご感想を自由にお書き下さい。

- 前向きで規律正しく、誠実な実習生が増加している。
- 日々、明確な目標を掲げて実習に臨む姿は好感がもてる。
- 実習生は、勤勉で、素直に取り組む姿勢が見られ、成長が著しい。
- 緊張するだろうが、笑顔で挨拶、受け答えをしてほしい。
- 言葉遣い、礼儀作法、時間を守ること等の基本的なことをしっかり身につけてほしい。
- 教育に関する技術は経験を積めば上達するが、教育に取り組む姿勢が大切である。情熱をもって実習に臨んでほしい。
- 人間性、生活習慣等がよい実習生がほとんどであるが、もっと、明るい挨拶、言葉遣い等が自然にできるとよい。
- 実習期間だけでなく、日常から、清潔感溢れる服装の指導が望まれる。
- 個人差はあるが、音楽関係の指導力に不十分な点がある。
- 現場では、学力や専門的知識よりも人間性や一般常識が重要な場面に直面することが多い。当たりまえのことが当たりまえにできる人であってほしい。
- 実習園の教育方針を理解し、指導に当たる担当教諭の指導を謙虚に学ぶ姿勢が望まれる。
- 指示待ちでなく、自ら意欲的に取り組む姿勢を期待したい。実習は学ぶチャンスと考えてほしい。
- 免許取得のための実習ではなく、将来の進路として幼稚園教諭を志望して実習に臨んでほしい。
- 清掃の仕方、家事一般の常識、社会常識に欠ける傾向がある。
- 実習期間だけではなく、普段の行事等にも自ら積極的に参加して、幼稚園教諭としての力量を高める心構えが望まれる。このような経験から、組織人としての在り方や自覚が育成されていくもの考える。
- 学ぶ意欲、育つ喜びを感じる機会ができて、感謝している。
- 保育の専門性も大切であるが、保育士の人間性はそのまま子どもに投影されるので、建学の精神である「礼節と勤労」を充実して、今後も、更に、人としての基本姿勢の確立を願いたい。
- 実習日誌の書き方、指導案の書き方、提出、研究保育の活動内容等の事前指導の更なる充実を願いたい。

これらの指摘については、今後の授業や実習前指導の中でも配慮し、指導を徹底していくことが望まれる。

### 3 まとめ

幼稚園長の立場と直接教育に携わる主任の立場、及び幼稚園教諭を目指している保育科、初等教育科の学生への調査結果を考察して、幼稚園現場が求める資質能力を次表にまとめた。

幼稚園教諭に求められる資質能力	
幼稚園教諭に求められる資質能力	①幼児の思いや願いを的確にとらえる洞察力 ②幼児への愛情 ③教育への情熱 ④幼稚園教諭としての使命感 ⑤幼児の成長・発達に関する理解
教育現場の実践的指導に期待される力量	①教育内容に関すること ②基本的な生活習慣に関すること ③クラス経営に関すること
幼稚園教諭に特に必要な生きる力	①自主的に行動できる力 ②自分の行動への責任感 ③何でも挑戦する情熱 ④豊かな創造力
幼稚園教諭が社会人として特に身につけるよう期待されること	①責任感をもつこと ②報告、連絡、相談を忘れないこと ③思いやりの心を常にもつこと ④幼稚園の一員である自覚をもつこと
豊かな人間性に関する内容として特に求められる資質能力	①思いやりの心 ②感動する豊かな感性 ③人間尊重・人権尊重の精神 ④正義感や公正さを重んじる心
幼稚園教諭としての職務遂行に必要な資質能力	①子どもの成長・発達に関すること ②幼稚園教育要領に関すること ③教育理念に関すること
教育における愛着、誇り、一体感の中で求められる資質能力	①職務に関する情熱・使命感 ②幼児に対する愛情 ③幼児に対する責任感や興味・関心
教育に関する知識及び技能の中で特に求められる資質能力	①教育の意義や保育の役割に関する正確な知識 ②幼児の個性を伸ばす能力 ③地域・家庭との円滑な関係を構築できる能力 ④困難な事態を処理できる能力
実習生に求められる実践的指導力の内容	①教育内容に関すること ②基本的な生活習慣に関すること ③クラス経営に関すること
幼稚園教諭の初任者に特に求められる資質能力の観点	人間性重視の観点、専門性重視の観点の両方が、特に求められる。中でも、人間性重視の観点は大切である。

幼稚園教育は祈りである。幼稚園の園長をはじめ幼稚園教諭は、幼児を「登園してくれて有り難う。今日も元気いっぱい笑顔で楽しく過ごしてほしい。今日も病気や怪我をしないように。」と祈りの中で迎える。幼稚園は3歳から小学校へ入学する前の5歳までの幼児が生涯にわたる人格形成の基礎を培う極めて重要な時期にその生活の大半を過ごす場所である。そこで、幼稚園は、幼児一人ひとりが「ほっとくつろげる居場所」になるよう、安全で情緒の安定した場を提供できるよう心がける責務がある。

昨今の教育界では、「生きる力」の育成が重要課題となっている。幼稚園でも、「生きる力の基礎」の育成が課題であるが、幼稚園での「生きる力の基礎」は、「偏食しないで楽しくで食べる力」「身近な人と親しみかかわりを深める力」「誰とでも仲良く遊ぶ力」「ぐっすりと眠る力」「自分の思いを表現する力」「安全に配慮する力」等であると考え。幼稚園は、各年齢、発達段階に応じて教育を実践することによって、将来を生き抜く力の基礎ができると確信して、毎日、努力を傾注しているのである。

幼稚園教諭の心は、「育ての心」であり、「和顔愛語」である。幼稚園教諭は、教育は幼稚園教諭の幼児への影響力であり、感化であると考えて努力しなければならない。

このように考えると、前述の調査結果のまとめ「幼稚園教諭に求められる資質能力」は当然のことであり、真摯に受け止めて、今後の指導に活かしていきたい。

去る平成20年3月28日、学校教育法施行規則が改正されるとともに、幼稚園教育要領、小学校学習指導要領及び中学校学習指導要領が公示された。今回の幼稚園教育要領によると幼児教育の基本について、「幼児期における教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであり、幼稚園教育は、学校教育法第22条に規定する目的を達成するため、幼児期の特性を踏まえ、環境を通して行うものであることを基本とする。このため、教師は幼児との信頼関係を十分に築き、幼児と共によりよい教育環境を創造するように努めるものとする。」とあり、幼稚園教諭には、意図的に計画的、継続的な教育指導が求められ、指導の根幹である指導計画の立案、作成、実施の力量が問われると言える。

即ち、幼稚園長は、幼稚園教諭が、指導計画を作成するに当たって新しく公示され幼稚園教育要領を精読して、年間指導計画を作成する留意点やポイント等に精通することを期待していると考え。

については、本学においては、幼稚園教諭をみざす学生に対して、「幼稚園教育要領の指導計画及び教育課程に係わる教育時間の終了後等に行う教育活動などの留意事項」の指導を徹底し、学生が、調和のとれた組織的、発展的な指導計画を作成し、幼児期にふさわしい生活を展開し、幼児が自ら意欲をもって環境とかかわることによりつくり出される具体的活動を通して、その目標の達成を図れるようにしたいものである。

上記のことを踏まえて、幼稚園の現場において、幼稚園教諭の職務を果たすために求められる資質能力は、次の十項目にまとめられる。

- ① 幼児教育への情熱、使命感
- ② 幼児への愛情
- ③ 幼児の心身の発達等の実態に即した適切な教育課程を編成し実施する力

- ④ 幼児一人一人の特性に応じた物的・空間的環境を構成し、総合的にコーディネートする力
- ⑤ 幼児の生きる力の基礎を育成する力
- ⑥ 幼児の心にもっと踏み込み、コミュニケーションをとる力
 

幼児と話す力	幼児の訴えを聴く力
幼児の悩みを考える力	幼児の意見をまとめる力
幼稚園教諭の思いや願いを伝える力	毎日の教育を記録する力
- ⑦ クラスを経営する力
- ⑧ 幼稚園の一員として、他の職員と協働する力
- ⑨ 家庭、地域における幼児期における教育を支援する力
- ⑩ 社会人としての礼儀作法等の一般常識

求められる資質能力の育成のためには、特に、本調査の結果を基に、保育科・初等教育科の2年間を見通した分野の指導方法や学生個人への対応の在り方を改善する必要がある。即ち、従来の一方向的な講義型の授業から、指導過程において資質能力を育成できるように指導方法を改善するとともに、育成の視点から教材を開発して活用することが必要である。また、短大全体、学科の行事、教育実習前指導の在り方、ガイダンスアワー等、全般を見直すとともに、日常の生活の場、実践の場である学生の家庭生活における家事一般、社会常識等の指導の充実のため保護者会等における家庭との連携を密にしていけることが肝要である。

#### 4 今後の課題

- (1) 本調査の結果を基に、保育科・初等教育科の2か年間を見通した各分野の指導方法の改善
- (2) 幼稚園教諭として求められている資質能力の育成を目指した教材の開発
- (3) 学生個人への対応の在り方の工夫改善（本学のFD活動の充実）
- (4) 短大全体、保育科・初等教育科の行事等の工夫改善
- (5) 実習前指導の在り方の検討及び指導案の書き方の指導
- (6) 幼稚園に対する教育観の確立
- (7) 幼稚園及び学生の保護者との緊密な連携

#### (引用文献)

幼稚園教育要領解説	2008年10月	文部科学省
宮崎女子短期大学 研究紀要第34号	2008年3月	
中央教育審議会答申	2008年1月	
教職員人材育成プラン	2007年3月	宮崎県教育委員会

#### 謝辞

本調査実施においては、ご多用の中、書面による質問調査にご協力いただきました本県内の公立及び私立の幼稚園長・主任の各位、本学保育科、初等教育科1年生、2年生の学生に心から感謝申し上げます。